



1

エネファームタイプSと太陽光発電による ダブル発電を採用

奥さまのご要望から、リビング・ダイニング・キッチンと和室には、それぞれ玄関ホールへとつながる出入り口を設置。2方向から出入りができる回遊動線となっており、「リビング・ダイニング・キッチンと和室は、引き戸式の間仕切りを設けています。急な来客の際などには、間仕切りを閉めて和室でお客さまを出迎えます。子どもが小さいので、リビングにもおもちゃがはいはいが広がっている」という時でも、「片付けなきゃいけない」と慌てることもありません。落ち着いて対応ができるの良いですね」と

微笑む奥さま。「休日には、私も料理をしています。スペースを大きくとっているので、二人で並んでキッチンに立っています」と、奥さまもうれしそうに、「目を細めながらおっしゃいます。」
「ダブル発電には、興味がありました。人にも環境にもやさしいということや、省エネにつながる光熱費を抑えることができることから、導入を決めました」と、おっしゃる奥さま。この住まいから始まる、新しい暮らしは、仲睦まじいご家族の絆をより一層強いものにしていくことなのでしょう。



4



5

- 1 住まいのメインとなるリビング・ダイニング・キッチン。白を基調とした室内に、黒がアクセントとなったキッチン。シンプルモダンな空間が広がります。
- 2 キッチンに立つと、広い室内を見渡すことができます。奥行きのあるカウンタートップにすることも、奥さまのご希望だったとか。
- 3 リビング・ダイニング・キッチンと和室の2方向で出入りすることができる玄関ホール。横には大容量のシューズクロークが設けられていて、靴だけでなく、外出から帰った際にコートなどをかけておくことができるスペースもあります。

- 4 玄関ホールから出入りができる和室。「子どもの節句の飾りを置いたり、お花を飾ったり。ホッとできる空間にしたい」と、奥さまはおっしゃいます。
- 5 「ダブル発電の家」の外観。黒を基調に、玄関まわりの木目が映える意匠になっています。



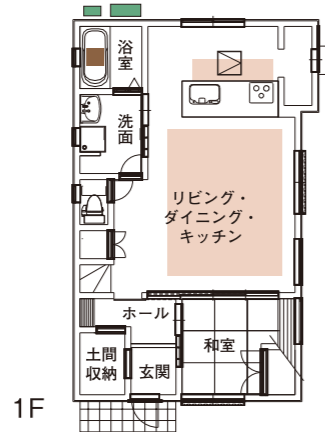
有限会社フィットワン
代表
よこい ゆういちろう
横井 雄一郎さん

弊社は、南大阪で戸建事業やマンション事業、分譲地開発を手掛ける地元密着型の企業です。この「ダブル発電の家」のある「ピュアコート高鷲」は、弊社の最新プロジェクトの一つです。近鉄南大阪線「高鷲」駅から徒歩3分という駅近の立地で、全25区画の分譲地となっています。南大阪で新築を検討されるのであれば、ぜひ弊社にお声がけください。土地探しの段階から、住まいづくりをサポートし、お客さまにぴったりな、ワンマンの住まいをご提供しています。

- ・連絡先:有限会社フィットワン
- ・住所:大阪府羽曳野市高鷲4丁目3番10号
- ・TEL:072-955-0277
- ・FAX:072-955-0278
- ・URL:<http://www.fitone-net.com/>

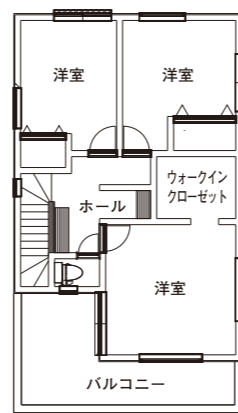
ダブル発電の家(S邸)

縮尺=1/200



1F

- エネファーム
- ミストカック
- ヌック



2F

ダブル発電の家(S邸)

- ・所在地/大阪府羽曳野市 家族構成/ご夫婦+お子さま
- ・敷地面積/122.22㎡ 建築面積/59.46㎡
- ・延床面積/107.52㎡
- ・構造・規模/木造・地上2階
- ・設計期間/2017年8月~2018年3月
- ・施工期間/2018年3月~2018年5月

導入ガス設備・システム

- ・家庭用燃料電池コージェネレーションシステム エネファーム△type S
- ・ガス温水床暖房 ヌック
- ・ガス温水浴室暖房乾燥機 ミストカック
- ・太陽光発電システム

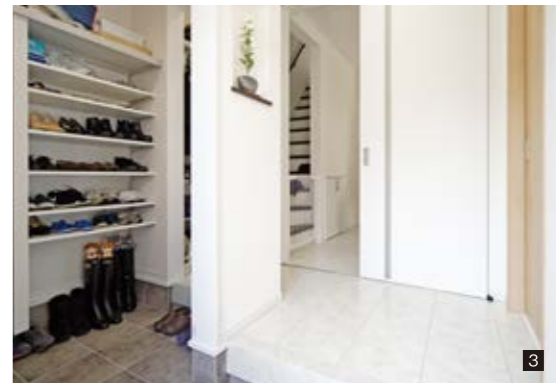
駅近の立地が魅力の新街区

近鉄南大阪線「高鷲」駅から徒歩3分の新街区「ピュアコート高鷲」の一角に建つ「ダブル発電の家」は、シンプルモダンテイストの住まい。
「私たちは一人とも、羽曳野出身。住まいを建てるなら地元で、ということからは以前から決めていました。羽曳野市内で通勤に便利な、駅近くの場所を探して、いくつか分譲地などを見学に行きました。が、徒歩3分という立地がとても気に入りました」と、Sさまはおっしゃいます。
Sさまのご要望は、「広々としたリビング・ダイニング・キッチン」ということ。「子どもが走り回れる広々とした空間、そし

て二人で並んで料理ができるキッチンにしたかった」とSさま。「私がお願ひしたのは、パントリーなど、大容量の収納を設けること、出入り口を2箇所設けて、玄関と室内が2WAYで行き来できるようにすることです。」
「奥さまはこのほか、室内は白を基調としたシンプルモダンなものにする、フロアは大理石調のタイルにすることなどを希望されていました」と話すのは、この住まいを手掛けた有限会社フィットワンの横井雄一郎さん。



2



3